

# 2018年度 自己点検・評価

【 専修学校ガイドライン 及び ISO29990 】



学校法人シモゾノ学園  
大宮国際動物専門学校

【 2018年(平成30年) 6月20日 】

## 1. 学校の教育目標

### ■ 教育理念

「心を大切に 感謝の気持ちで自然を思い 人と動物の真の共存共生」

### ■ 教育方針

#### □ 専門性の追求

「動物を取り巻く環境をしっかりと理解し、動物業界で求められる知識・技術を追求し、戦力となる人財を育成します。」

#### □ 道徳性・人間性の育成

「感謝の心を失わず、挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、品格の備わった人財を育成します。」

#### □ 動物福祉の実践

「動物の生命 及び 尊厳を守る精神を養い、自然・環境・動物との共存共生を実践し、広く社会に貢献できる人財を育成します。」

## 2. 2017年度の重点的に取り組む目標・計画

### ■ 教育関連事項

□ 職業実践専門課程における、教育課程編成委員会を通じた教育目標と教育課程の質の向上を行う。

□ 学生 及び クラス に合わせた教育の仕方等の検証と改善を通し、教育の質の向上を行う。

### ■ 学校運営関連事項

□ 入学対象者の情報の受け方に合わせた、学生募集の仕方の検証と改善を通し、定員数を獲得する。

□ 教職員が能動的・効率的に職務に取り組めるよう、学校運営の仕方の検証を行い、改善に活かす。

## 3. 評価項目の達成 及び 取り組み状況

### ■ 評価は、4段階で行う。

→ 評価項目に対し、専修学校ガイドライン 及び ISO29990 に基づく評価指標に則って評価を行う。

1. 教育理念・目標		評価	備考
1-1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人財像は明確に定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか。)	4	
1-2	学校における職業教育の特色は明確になっているか。	4	
1-3	学校の理念・目的・育成人財像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか。	4	

**【 自己点検・評価 】**

① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて

- 【1-1】 社会のニーズの反映について、教育課程編成委員会に加え、さらなる情報・意見交換方法を検討する。
  - 卒業生が就職した企業等からの定期的な意見徴収等の実施を検討する。
  - 内部監査を踏まえ、【1-1】について、社会のニーズをより捉えられるように、企業訪問時等で得られた意見・情報を集約し、学校運営に活かす取り組みを行うことを検討する。
- 【1-3】 保護者への周知について受動的な態度の保護者にも周知できる機会(手段)を検討する。
  - 保護者向けのホームページ内での情報提供(共有)、学校行事(入学式等)と保護者会の同日開催等を検討する。

② 特記事項

- 上記2つの課題については、2018年度(今年度)において、改善に取り組んでいる。

2. 学校運営		評価	備考
2-1	教育方針や教育目標等に沿った運営方針が策定されているか。	4	
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか。(教務・財務の意思決定システム制度は整備されているか。)	4	
2-3	学校運営に関する(事業計画・予算編成・教育活動等)に対する評価を結論として取りまとめた評価報告書を作成しているか。	4	
2-4	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化され、人事・給与に関する規程も含め、有効に機能しているか。	4	
2-5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3	
2-6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3	

#### 【自己点検・評価】

##### ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて

- 【2-5】コンプライアンスに関するマニュアル(個人情報やハラスメント等)の明文化 および 問い合わせ対応マニュアルの再整備が必要である。
  - 2018年度より制定できるように取り組む。
- 内部監査を踏まえ、【2-1】、【2-3】、【2-4】、【2-5】について、エビデンスを追加する。
  - 「事業基幹計画」、「教職員研修日(事業計画 共有会)」、「自己点検・評価 報告書」、「理事会 議事録」、「就業規則」を追加する。
- 内部監査を踏まえ、【2-3】について、情報公開後に学内により周知できる取り組みを行う必要がある。
  - 2018年度より、情報公開後に学内に情報公開がされたことを通知する。
- 内部監査を踏まえ、【2-6】について、4評価の指標内容の必要性を考慮し、3評価までを取り組み目標とする。
  - 所轄官庁が選定する公認の第三者評価制度の選定を待ち、実施を検討する。

##### ② 特記事項

- 特になし。

3. 教育活動		評価	備考
3-1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	
3-2	教育理念・育成人財像・業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	
3-3	教育理念・到達目標に沿って、学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	
3-4	講義 及び 実習に関するシラバスは作成されているか。	3	
3-5	学生によるアンケート等をもとに、適切に授業評価を実施しているか。	3	
3-6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか。（教育内容 及び その評価方法・手段・スケジュールは適切か。）	4	
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	
3-9	人財育成目標の達成に向け、各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3	
3-10	動物看護職関連分野との連携による優れた教員（専任・兼任共に）を確保するための活動が行われているか。	3	
3-11	関連分野における先端的な知識・技術等を修得するための研修や教員の指導力育成等の資質の向上のための取り組みが行われているか。	3	
3-12	カリキュラムは、自主学習を含む学習時間・学習方法を学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか。	2	
3-13	講義に関し、機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか。	4	
3-14	実習に関し、機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか。	4	
3-15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか。	3	
3-16	動物を使用する実習・実験等に関し、これらに関する倫理や動物の福祉についての規則やマニュアルが整備され、公表されているか。	3	
3-17	学生の成績情報等への閲覧制限が適切に設定されているか。 ※ 本項目は、3段階で評価し、3評価が最高評価となる。	3	

① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて

- 【3-4】 授業前に配布ないし周知できていないことが課題。
  - シラバス作成時期を早めることで、事前に配布もしくは周知できるよう取り組む。
  - 内部監査を踏まえ、講師会で兼任教員にシラバスの目的等を説明し、学生への情報共有を含め、学習成果を高められるように取り組む。また、学生に対して行っている授業アンケートにて、シラバスを用いた授業科目の説明等がされていたかを検証することを検討する。
- 【3-5】 第三者による評価制度を構築することが課題。
  - 第三者による評価制度の構築を検討する。
- 【3-9】 採用計画に関して、資格や要件などの基準が設けられておらず、人財像を明記していない。
  - 採用計画に関して、人財像(資格や基準など)の基準を設け、明記する。
- 内部監査を踏まえ、【3-9】のエビデンスを追加する。
  - 「教職員 授業分担表」、「カリキュラム」、「教職員コンピテンシー表」を追加する。
- 【3-10】 4評価の指標内容の必要性を考慮し、3評価までを取り組み目標とする。
- 【3-11】 研修成果を学内共有する仕組みを構築する。
  - 効果的・効率的に学内共有する仕組みを構築する。
  - 内部監査を踏まえ、教職員研修にて、学内共有を行う時間を設ける。また、レポート等の回覧を行う。
- 【3-12】 シラバスに自主学習についてを明記することが課題。
  - 自主学習に関して明記されたシラバスを作成する。
- 【3-15】 4評価の指標内容の必要性を考慮し、3評価までを取り組み目標とする。
- 【3-16】 規定・マニュアル等の周知・教育に注力することが課題。
  - 周知・教育するように取り組む。
  - 内部監査を踏まえ、規定を制定し、規程の周知 及び 施行を行う。
- 【3-17】 マニュアルを定期的に再整備することが課題。
  - マニュアルの再整備を行い、周知・徹底するよう取り組む。

② 特記事項

- 【3-4】 シラバスの書式の変更に伴い、4評価が求める内容については、2019年度より行う。
- 【3-12】 シラバスの書式については、2018年度にて取り組みが行われている。

4. 学習成果		評価	備考
4-1	就職率の向上が図られているか。	4	
4-2	資格取得率の向上が図られているか。	4	
4-3	入学者に対する卒業率はどうか。	3	
4-4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し、評価する体制があるか。	3	
4-5	学生の学習成果の評価に際して、育成する人財像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか。	4	
4-6	教育・訓練 及び 実習等を委託する場合、その目的・要望事項・評価項目等の依頼を明確にしているか。	4	
4-7	総合臨床実習（インターンシップ実習）について、依頼先の獣医師等と十分なコミュニケーションをとり、その内容・評価方法を事前に定め、評価しているか。	3	

#### 【 自己点検・評価 】

##### ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて

- 【4-1】 過去3年間の就職率をすべて100%でないことが課題。
  - 就職支援の仕方を検証し、改善取り組みを行う。
  - 内部監査を踏まえ、【4-1】について、動物分野への就職率が過去3年間 95%以上のため、3評価を4評価に変更する。
- 【4-3】 中途退学防止に対する取り組みをより良くすることが課題。
  - 学校として対応できる個別の要因に対し、細かなフォローを継続し、突発的な退学を防止する。
- 【4-4】 ボランティア等の案内の告知などはしているが、評価方法の確定 および 評価を行うことが課題。
  - 内部監査を踏まえ、【4-4】について、学生の自己評価等を行うことを検討する。
- 【4-7】 評価基準・評価表は整備されているが、カリキュラムマップ等を用いての事前協議・事後の検証をより行うことが課題。
  - 実習先に対して、事前に実習の目的・内容等を提示し、実習の質をより高めるように取り組む。
  - 学生が、自身の実習前の目標設定 及び 事後の振り返りを行えるように取り組む。

##### ② 特記事項

- 【4-1】 在学者に対する就職希望者率を高めることが課題。
  - 学生との個別面談の強化・担任との連携を強化等を通じ、就職希望者率を高める取り組みを行う。

5. 学生支援		評価	備考
5-1	進路や就職に関する支援体制が整備され、学生や保護者等に周知されているか。	4	
5-2	学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか。	4	
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	
5-4	学生相談に関する体制は整備されているか。(相談窓口が設置されているか。)	4	
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3	
5-6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか。	3	
5-7	保護者との連携は適切に行えているか。	3	
5-8	卒業生への支援体制は整備されているか。	3	
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2	
5-10	高校や高等専修学校等との連携によるキャリア教育や職業教育の取り組みが行われているか。	3	

#### 【自己点検・評価】

##### ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて

- 【5-7】 問い合わせ対応マニュアル(予防、是正処置)の再整備が課題。
  - 頂いた問い合わせ(質問・要望・苦情等)に対し、適切に対応できる体制を整える。
  - マニュアルの再整備を通じ、学校関係者からの要望等を集約し、対応する。
- 【5-8】 卒業生の社会的評価を効果的・効率的に把握することが課題。
  - 卒業生の社会的評価を把握する仕組みを検討する。
- 内部監査を踏まえ、【5-3】について、エビデンスを追加する。
  - 「退学者状況報告書」を追加する。
- 内部監査を踏まえ、【5-5】について、学校による管理体制の拡充を検討する。
  - 実績がない状況(学生からの申請がない状況)ではあるが、管理体制の検証と改善は必要である。
- 内部監査を踏まえ、【5-6】について、学校の体制・取り組みは有効であるが、より認知される必要性を考慮し、評価を4から3に変更する。
  - 学生寮等の担当として、入学相談室がその職務を担い、有効に機能しているが、本項目のみならず、学生が相談したい内容を区分け、その相談先を明記し、周知する必要がある。
- 内部監査を踏まえ、【5-9】について、4評価の指標内容の必要性を考慮し、取り組みを検討とする。
- 内部監査を踏まえ、【5-10】について、学校の取り組みを再確認し、評価を2から3に変更する。
  - 高校と個別に連携契約を締結し、キャリア教育としての職業体験等を実施している。
  - 入学前教育に関するエビデンスは本項目に該当しないため削除する。

##### ② 特記事項

- 【5-8】 学友会の運営をより活性化できるよう取り組むことが課題。
  - 卒業生が参加し、情報交換等が行える行事の開催を検討する。



6. 教育環境		評価	備考
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分に対応できるように整備されているか。	4	
6-2	防災に対する体制は整備されているか。	3	
6-3	実習室には検査に必要な設備が整備されているか。	4	
6-4	基本的な動物看護実習に用いる動物を使用できる実習室が備わっているか。また、必要な数の動物が使用できるか。	4	
6-5	自己学習に必要な図書室 ないし 図書スペース 及び コンピューターが利用できる環境が整備されているか。	4	
6-6	学校の施設や備品等は、定期的に管理・点検されているか。	4	
6-7	実習室等の学校施設や設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか。	4	
6-8	海外研修制度はあるか。また、その際の学生への指示・教育は十分に実施されているか。	4	

#### 【 自己点検・評価 】

##### ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて

- 【6-2】 定期的な避難訓練に加え、実行可能かつ有効性が少しでもある突発的な避難訓練を行う。
  - 非常時に対するマニュアルの再整備 および 実行可能かつ有効性が少しでもある対応訓練を検討する。
- 内部監査を踏まえ、【6-4】について、学校飼育動物（猫）について、教育に必要な頭数を検討し、動物福祉を考慮した上で、整備するかを検討を行うことを提案する。
  - 育成人財像 及び 教育目標をもとに、教育に必要な学校飼育動物（猫）の頭数や扱い方を検討する必要がある。
- 内部監査を踏まえ、【6-5】について、エビデンスを追加する。
  - 本項目に関するエビデンスとして、「学生ラウンジ・図書室 利用規定」を追加する。
- 内部監査を踏まえ、【6-6】について、エビデンスを追加する。
  - 本項目に関するエビデンスとして、「修繕・備品等 中長期計画」を追加する。

##### ② 特記事項

- 特になし。

7. 学生の受け入れ募集		評価	備考
7-1	学生募集活動は適正に行われているか。	4	
7-2	学納金は妥当であるか。	4	
7-3	特別な対応が必要な学生への対応を定め、共有しているか。(身体的事項や精神的事項等)	3	

**【自己点検・評価】**

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて
- 【7-1】 人的・物的資源の提供についての公表がどれぐらいまで求められるのかを把握しきれない点が課題。
    - 現状過不足無いと判断するが今後その要件について検討していく。(教員数や校舎の公表の仕方について)
    - 内部監査を踏まえ、文部科学大臣が認定する職業実践専門課程の要件内にある情報公開に関する内容が適切に行えていれば適正と判断する。
  - 内部監査を踏まえ、【7-2】のエビデンスを一部変更した。
  - 【7-3】 組織的な対応を実行できているが、オープンキャンパス終了後の改善会議等でのレビューをより活かすことが課題。
    - 課題案件発生時に分かりやすく、広く教職員に情報共有し、改善する仕組みを構築する。
- ② 特記事項
- 【7-3】については、2018年度において取り組み中である。

8. 財務		評価	備考
8-1	中・長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	4	
8-2	予算や資金収支計画は有効かつ妥当であるか。	4	
8-3	財務について、会計監査が適正に行われているか。	4	
8-4	財務情報の公開の体制整備はできているか。	4	

**【自己点検・評価】**

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて
- 【8-4】 現状に加え、財務情報公開に関する規程の整備が課題である。
    - 規程の整備を行う。
- ② 特記事項
- 特になし。

9. 教育の内部質保証システム		評価	備考
9-1	法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか。	4	
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	2	
9-3	自己点検・評価の実施と課題の改善を行っているか。	3	
9-4	自己点検・評価の結果を公開しているか。	3	
9-5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な期間ごとに見直ししているか。	3	
9-6	評価目標 及び 想定される評価範囲を整理し、記述できているか。	2	
9-7	教職員に対する評価方法・スケジュール・評価の仕方等が書類として文書化されているか。	3	

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて
- 【9-2】個人情報保護に関する規定を再整備することが課題。
  - 再整備を行う。
  - 内部監査を踏まえ、【9-3】について、自己点検・評価後、学内共有を行う。
  - 内部監査を踏まえ、【9-5】・【9-6】・【9-7】について、必要性を考慮した上で、取り組みを検討する。
- ② 特記事項
- 特になし。

10. 社会貢献・地域貢献		評価	備考
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動の奨励や支援、地域に対する公開講座や教育訓練（公共職業訓練等を含む。）の受託等を積極的に実施しているか。	3	

【 自己点検・評価 】

- ① 課題 及び 今後の改善方針・取り組みについて
- 【10-1】地域公開講座等の運営が課題。
  - 2018年度 学園祭にて実施し、運営することを検討する。
- ② 特記事項
- 上記の課題については、2018年度(今年度)において、改善に取り組んでいる。